

人形劇を上演

■ 北大体育館



人形劇の一幕

毎年恒例となっている北大病院のイベントで、人形劇を上演しました。

イベントには大勢の子どもたちが集まり、楽しいひと時を過ごしました。

この他にもクリスマス会なども行いました。



木製ミニツリーをプレゼント



多くの方が来場しました

■ ご寄付・助成金をいただきました

我汝会さつぽろ病院 様
株式会社オール 様
札幌信用金庫社会福祉基金 様
赤い羽根共同募金会 様
この他に、毎年、北海道電力関連産業労働組合総連合（道電力総連）様から、多くのご支援を頂戴しております。

ありがとうございます

心から感謝申し上げます



事務局開設時間のお知らせ

月・水・金曜日（平日のみ）
午前十時三十分から午後二時三十分

「そらぷちキッズキャンプ」

の活動を支援しています

■ 子どもと家族を癒す

ファミリーハウス運動の原点は、「病院近くの第二のわが家」と言われるように、知らない土地で入院して治療を受ける子どもたちとその家族が、経済的負担が少なく安心して病院近くの滞在施設で家庭で過ごすような時間を得ることにあります。加えて、付き添い家族が病院での疲れを一時的に癒す場所にもなっています。わたしたちはこの原点を大切にしながら、もう一歩踏み込んだ活動として病院内での催しを企画し治療に頑張っている子どもたちの笑顔づくりの取り組みをしてきました。



医療体制は医師のボランティアなどが支える

「そらぷちキッズキャンプ」のコンセプトは、わたしたちの活動に通じるものがあり、入院して治療を受ける子どもたちが、「そらぷちに行きたい！」と思える、そのことが治療の励みになる

り、ひとときでも病気のことを忘れ、自然の中で「楽しい思い出」「すばらしい仲間」「生きる力」「希望」を得ることが出来ます。家族も医療のバックアップが整っている専用の施設で安心して参加できるため、家族の休息にも繋がる効果が期待できます。これらのことから、ファミリーハウスの新たな活動領域として、「そらぷちキッズキャンプ」の活動を支援していくこととしました。

■ 「そらぷちキッズキャンプ」のコンセプト

自然体験を通じて、病気とたたかう子どもたちとその家族の「QOL（生活の質）の向上」や「心のケア」に寄与することを目的としています。具体的には、病気とたたかう子どもたちとその家族に対し自然の中で安心して安全に過ごしてもらうため、特別に配慮されたキャンプ施設や自然体験プログラムを提供します。

また、地元（滝川市）の医師や看護師による医療的なバックアップ体制が構築されているため、病気の子どもやその家族が安心して「楽しい思い出」「すばらしい仲間」「生きる力」「希望」を得ることが出来ます。



宿泊棟にある二段ベッド



ボランティア研修で施設見学



車椅子なども用意されています



所在地 079-0461 滝川市江部乙町丸加高原 464-1 公益財団法人 そらぷちキッズキャンプ

<http://www.solaputi.jp>